にんじん森森で 畜産の未来を元気モリモリに!

栃木県立真岡北陵高等学校

1年目:北陵ミックスの開発

糞洗い

未消化、ムチンの割合に差が見られ、 試験区の牛の割合が少なく、飼料効率が良い。

採血

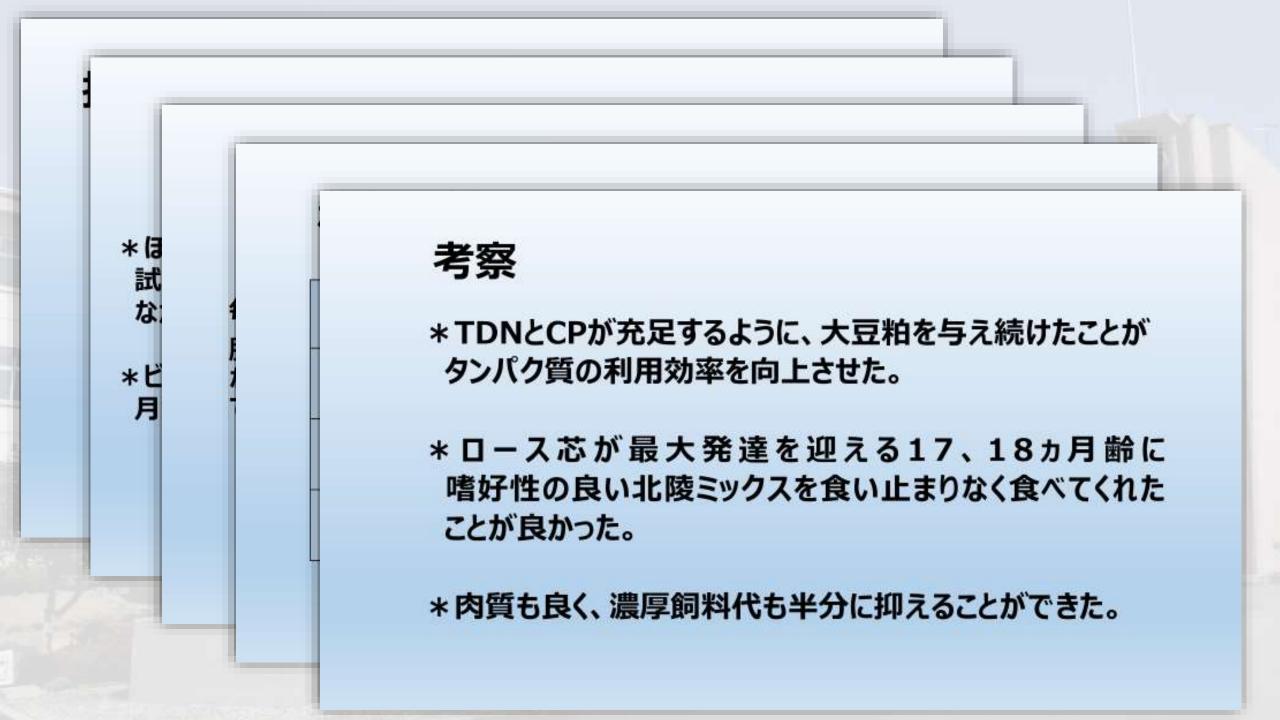
対照区の肝機能(AST)が上昇していたが、総コレステロール、 遊離脂肪酸の値は正常。

体重

対照区、試験区ともに大きな差はなく順調

T۸





3年目:にんじん森森で繁殖改善

日本製紙との共同研究も今年で3年目!!

3年目:にんじん森森で

繁殖改善

2年目:北陵ミックス給与牛の

生育調查•肉質分析

1年目:北陵ミックスの開発



高NDF・高TDN 良好なルーメン発酵の維持







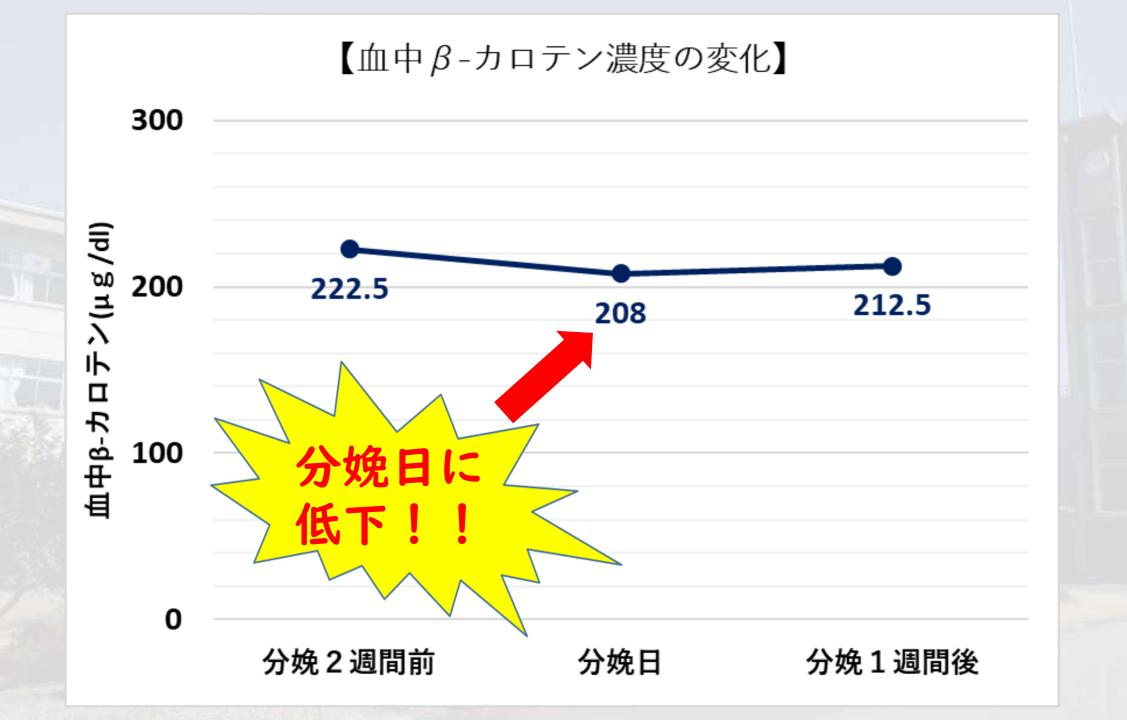
天然のβ-カロテン





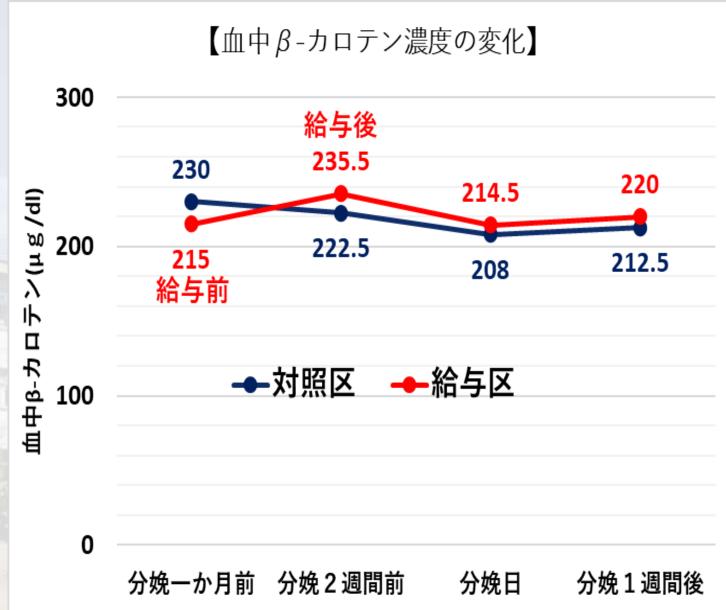






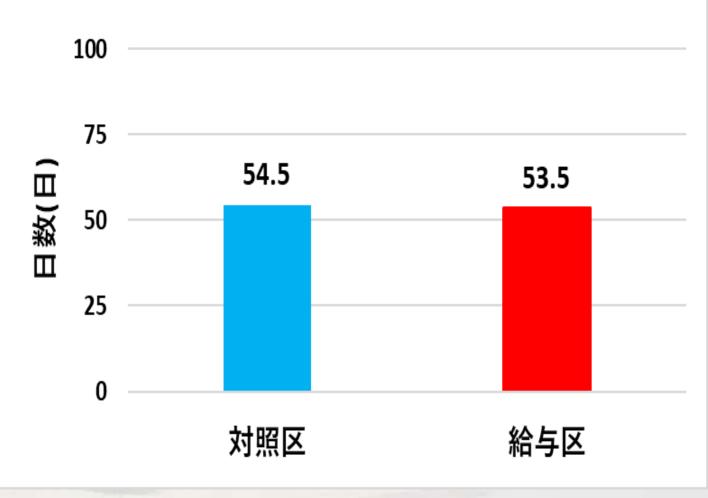


·分娩後の血中βカロテン 濃度の低下抑制が確認。



・空胎日数もわずかに短縮。

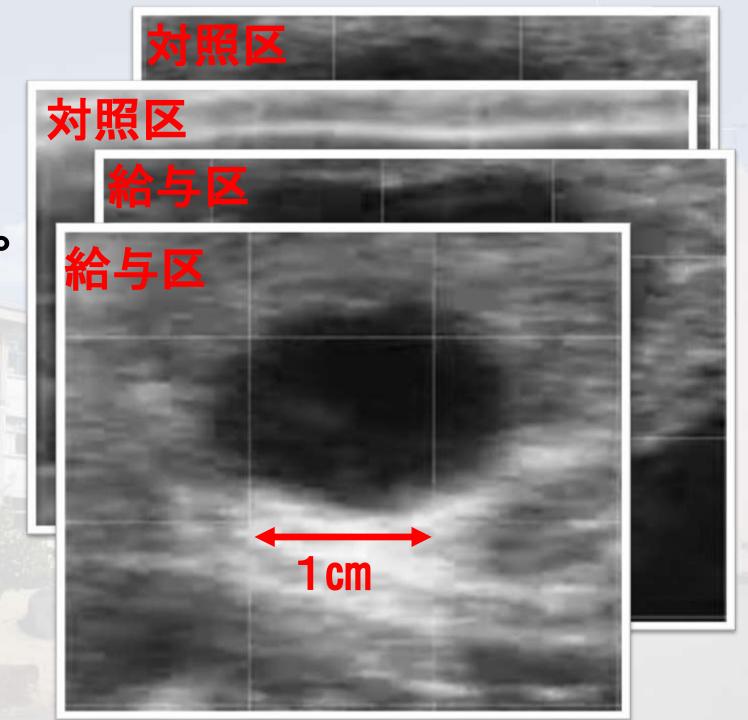




卵巣の様子(卵胞)

・発情時の卵胞の大きさにあまり差は見られなかった。

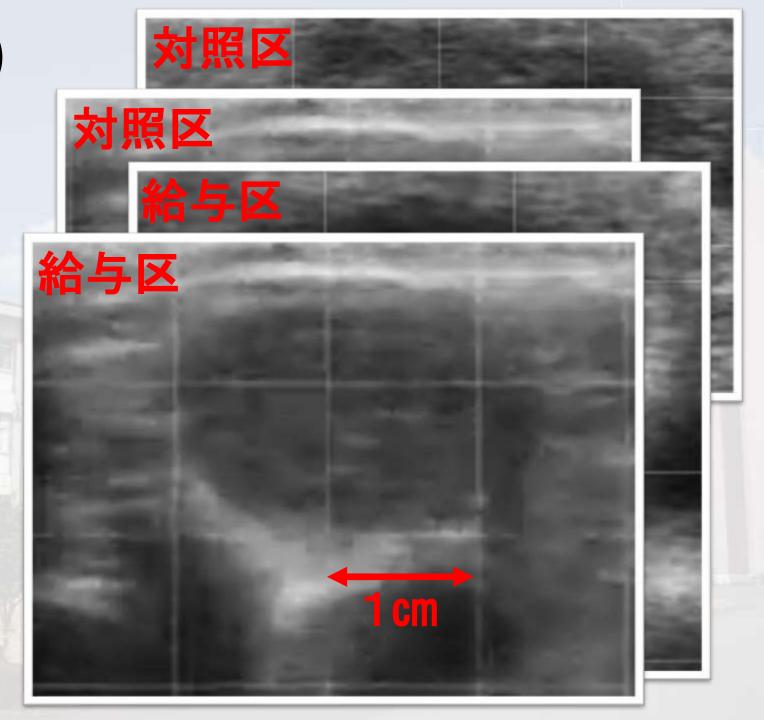
・若干、給与区で大きくなった



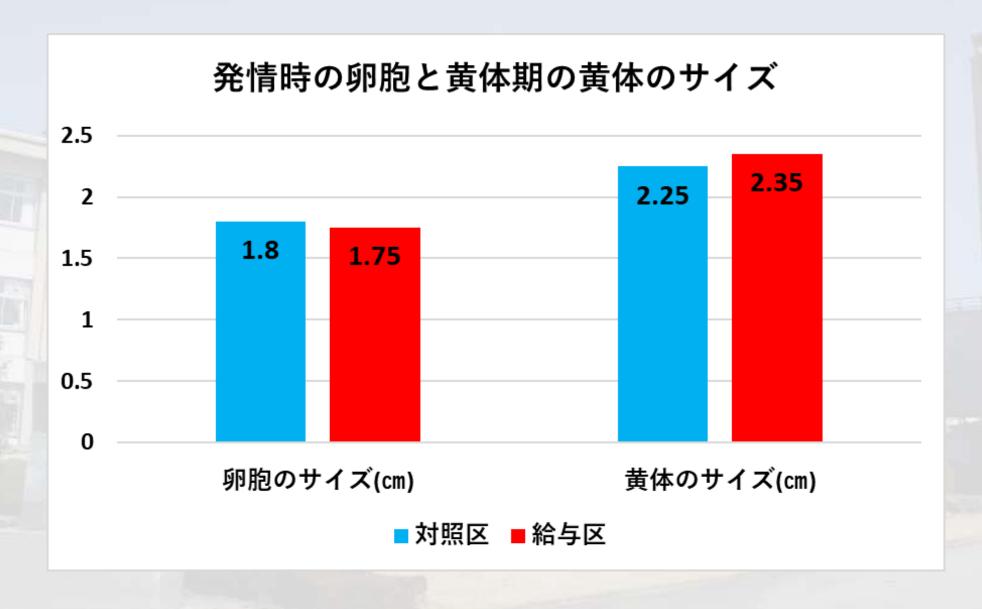
卵巣の様子(黄体)

・黄体の大きさもあまり差は見られなかった。

・卵胞と同様、給与区で大きくなった。



卵巣の様子(まとめ)



考察と今後の課題

考察

- ・本校の繁殖牛15頭の平均受精回数は1.7回、 分娩感覚も平均371日と、もともと繁殖成績が 良い
- ・にんじん森森を使用することで、さらなる繁殖成績の向上を確認することはできなかった。

今後の課題

- ・発情時の卵胞、黄体期の黄体のサイズが、若干対照区と比べて大きくなった
- ・今後、繁殖障害の牛が現れた時や、受精卵 移植するときの受胎率なども調査していきた い

ご清聴、ありがとうございました。